

2017（平成29年）年度事業報告書

I. はじめに

この法人は、1997（平成9）年に設立された「財団法人深川高年齢者職業経験活用センター」を母体として2013（平成25）年4月に改組された「一般財団法人 深川高年齢者センター21」が、2014（平成26）年8月21日に「一般財団法人 前川ヒトづくり財団21」と名称を変更し、現在に至る。

II. 事業目的

前川ヒトづくり財団21は、人口の高齢化と若年労働力の減少、更に労働期間の長期化する社会にあって、勤労者の年代に応じた能力を開発し、生涯にわたり活躍できる能力開発を推進すると共に高齢者が長年の経験と工夫を通じて蓄積した潜在能力が活かされる環境作りを図り、勤労者の福祉の増進と社会の活力と経済の維持発展に寄与し、生涯現役社会の実現を目的とする。

III. 理事会・評議員会開催報告

理事会及び評議員会を下記の通り開催した。

（1）2016（平成28）年度第2回理事会開催

開催年月日	2017（平成29）年6月5日
第1号議案	2016（平成28）年度事業報告の件
会議の結果	原案通り可決された
第2号議案	2016（平成28）年度収支決算報告の件
会議の結果	原案通り可決された
第3号議案	評議員会開催に関する件
会議の結果	原案通り可決された
その他報告事項	
報告の結果	質疑等は無かった。

（2）2016（平成28）年度第1回評議員会開催

開催年月日	2017（平成29）年6月26日
第1号議案	2016（平成28）年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件（監査報告）
会議の結果	原案通り可決された
第2号議案	理事選任に関する件
会議の結果	原案通り可決された
第3号議案	評議員選任に関する件
会議の結果	原案通り 可決された

その他報告事項

報告の結果 質疑等は無かった。

(3) 2016（平成 28）年度臨時理事会開催

開催年月日 2017（平成 29）年 7 月 11 日

第 1 号議案 理事長選任の件

報告の結果 質疑等は無かった

会議の結果 原案通り可決された。

(4) 2017（平成 29）年度第 2 回理事会開催

開催年月日 2017（平成 29）年 11 月 28 日

第 1 号議案 規程・規制の制定、改定に関する件

会議の結果 原案通り可決された

第 2 号議案 専務理事選任の件

会議の結果 原案通り可決された

第 3 号議案 評議員開催に関する件

会議の結果 原案通り可決された

その他報告事項

報告の結果 質疑等は無かった。

(5) 2017（平成 29）年度第 1 回評議員会開催

開催年月日 2017（平成 29）年 12 月 18 日

第 1 号議案 定款の改定に関する件

会議の結果 原案通り可決された

第 2 号議案 評議員会運営規則に関する件

会議の結果 原案通り可決された

第 3 号議案 役員等の報酬及び費用に関する規定に関する件

会議の結果 原案通り可決された

第 4 号議案 評議員の辞任と選任に関する件

会議の結果 原案通り可決された

第 5 号議案 理事の辞任と選任に関する件

会議の結果 原案通り可決された

(6) 2018（平成 30）年度第 1 回理事会

開催年月日 2018（平成 30）年 3 月 06 日

第 1 号議案 2018（平成 30）年度事業計画（案）に関する件

会議の結果 原案通り可決された

第2号議案	2018（平成30）年度収支予算（案）に関する件
会議の結果	原案通り可決された
第3号議案	選考委員および選考委員長選任に関する件
会議の結果	原案通り可決された
第4号議案	2017（平成29）年度第2回評議員会に関する件
会議の結果	原案通り可決された
その他報告事項	
報告の結果	質疑等は無かった。

(7) 2017（平成29）年度第2回評議員会

開催年月日	2018（平成30）年3月13日
第1号議案	定款の改定に関する件
会議の結果	原案通り可決された
第2号議案	役員等の報酬及び費用に関する規定に関する件
会議の結果	原案通り可決された
その他報告事項	
報告の結果	質疑等は無かった。

IV. 事業計画に対する実施内容報告

1. 事業計画内容

事業目的に対し下記の事業を行う。

- (1) 生涯現役社会を創るための調査・研究
- (2) 勤労意欲のある者への講座、セミナー育成事業
- (3) セミナー受講者を対象とした相談・助言事業
- (4) その他、前条の目的実現の為に必要な事業

2. 事業内容の説明

(1) 公益目的事業について

「企業（組織）における生涯現役(定年ゼロ)の実現」をテーマにした講座、セミナー、ファシリテーター育成事業

【調査・研究】

(1) -1. 「企業における生涯現役社会」構築のあり方とその支援方向の調査研究

※企業における生涯現役の取り組み例として、(株)前川製作所（マエカワ）を最初に取り上げる。

- 1) 「成人期、中年期、高齢期の各期の発達課題とそれを達成するための世代間の連携」

外部協力者：田島信元先生（白百合女子大学）

2017年度テーマ：若年層・中年層・高齢層の三世代が融合して働くなかで、各世代が相互に、どの様に影響しあい、仕事をしているかを明らかにするためのアンケート調査を、メールアドレスを持つ社員2,129名に依頼をして、1,019名から回答を得た。その回答を分析調査し、共同研究報告としてまとめました。

報告書：生涯発達心理学研究の共同研究報告

タイトル『企業内における「生涯現役」社会構築の過程と条件の分析－企業内三世代の越境的交流の効用－』

発行：白百合女子大学 生涯発達研究教育センター。

2) 「チームの技（熟達）およびシニアメンバーによる知的生産性の活用」

外部協力者：北村勝朗先生（東北大学）

2017年度テーマ：前年度調査が終了している前川製作所北海道支店に続き、前川製作所の東北から九州までの7支店及び守谷トレーニングセンター合わせて8部門86名にインタビューをしてチームの技（熟達）を調べました。2018年度のシンポジウムで報告されます。

3) 「高齢者がいきいきと働くための精神的な居場所と仕事の関係」

外部協力者：蘭牟田洋美先生（首都大学東京）

2017年度テーマ：2016年度に実施したインタビューをもとにアンケート用紙を作成し、メールアドレスを持つ30歳以上の前川製作所社員1,775名を対象にアンケート調査を行い1,150名から回答を得ました。現在は分析作業を進めており、報告は2018年度の予定です。

4) 「自己発見気づきセミナー・自己開発気づきセミナーの改訂」

外部協力者：蘭牟田洋美先生（首都大学東京）

セミナーの依頼元である前川製作所が現状維持との意見で進展はありませんでした。

5) 「脳科学の立場から見たAIとシニア層が活躍できる場所」

外部協力者：泰羅雅登先生（東京医科歯科大学）

2017年7月12日泰羅雅登先生が逝去されたため、この取り組みは打ち切りとなりました。

【講座・セミナー・育成】

(1) -2.-1) 自己発見気づきセミナー（別名：場所的自己発見研修）

*ねらいと特徴

人口の高齢化と若年労働力の減少する社会にあって、「勤労者の生涯現役」を実現

するには、雇用期間の長期化は単に従来の関係の延長ではないことを関係者全員が認識するとともに、勤労者が自ら新たな関係性や新たな行動を起こしてゆくことが求められる。そのためにはまず 360 度評価を用いた他画像（他者評価）と自画像（自己評価）のギャップを勤労者が“感じ”、“受け止める”ことが出発点となる。参加者を 4~5 名のチームに分け、各チームにファシリテーターが一人付き進める。参加者がセミナーの中で他画像と自画像のギャップを“感じ”、“考え”、“気づく”ことができるように仕組まれており、必要であればファシリテーターが助言をする。他画像と自画像のギャップを受け入れて、自分の課題に“気づく”ことが重要なポイントで、ファシリテーターやチームメンバーからの押しつけがあってはならない。“気づき”を得られたあとは、課題達成のための実行計画を作る。企業に持ち帰って、発表し、実行する。その後のフォローアップ「自己開発気づきセミナー」も企画されており、確実に意識と行動が変わることができる。ファシリテーター料は、ファシリテーターが財団に所属する場合と、参加者と同じ組織の場合は無料とする。それ以外の場合は内規 1「講師料及び交通費支給」に基づいてファシリテーター料を支払う。

*「実績」

回数	日程	参加者数
第 39 回	2017 年 7 月 6 日～7 日	19 名
第 40 回	2017 年 8 月 3 日～4 日	21 名
第 41 回	2017 年 9 月 28 日～29 日	23 名
第 42 回	2017 年 10 月 19 日～20 日	20 名
	参加者合計	83 名

(1) -2.-2)ファシリテーター養成セミナー

*ねらい

自己発見気づきセミナーを世に広めるため、勤労者の生涯現役を目指す企業や組織のファシリテーターを増やす。

ファシリテーター育成の応募がなく開催されませんでした。

(1) -2.-3) 自己開発気づきセミナー

*ねらい

自己発見気づきセミナーで得た気づきをもとに計画的かつ具体的なイノベーションを興し、勤労者の生涯現役を実現するためのセミナー。

応募がなく開催されませんでした。

【シンポジウム】

(1) -3.シンポジウム（旧フォーラム）」

*ねらいと特徴

- ① 「生涯現役社会の実現」に関する財団が行った調査・研究の成果や学術の専門的見地や実業界トップの先進情報を参加者と共有し、普及・啓発を図ることが狙いです。
- ② 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の後援を得ており、足並みをそろえた活動となっています。
- ③ 広島では公益財団法人ひろしま産業振興機構と共催しています。

*実績

- ① 2017年4月4日(火) 東京
「第三回生涯現役社会の実現を考えるフォーラム(東京)」を開催しました。協賛は高齢・障害・求職者雇用支援機構殿です。
基調講演:学習院大学教授今野浩一郎先生と首都大学東京准教授藺牟田洋美先生にお願いしました。
パネルディスカッション:「高齢者が生き生きと働くために“生きがい”と“処遇”をテーマに司会前川ヒトづくり財団理事長伊東一郎、パネリストは前出の今野浩一郎先生と藺牟田洋美先生で開きました。
参加者:一般61名、前川製作所34名、併せて95名の参加がありました。
- ② 2017年9月6日 広島
「第三回生涯現役社会の実現を考えるシンポジウム広島」を公益財団法人ひろしま産業振興機構と共催しました。協賛は高齢・障害・求職者雇用支援機構殿から頂きました。
基調講演:学習院大学教授今野浩一郎先生と首都大学東京准教授藺牟田洋美先生にお願いしました。
パネルディスカッション:「高齢者が生き生きと働くために“生きがい”と“処遇”」をテーマに、司会はひろしま産業振興機構寄谷純治氏、パネリストは前川ヒトづくり財団理事長伊東一郎と今野浩一郎先生及び藺牟田洋美先生で開きました。
参加者:83名の参加がありました。

(2) 収益事業

【研究会】

(2)-1.生涯現役社会に向けたヒトづくりの会

*狙いと特徴

- ① 会員企業の実情、高齢者活用事例と業種・業態による高齢者雇用事例を発表する。
- ② 企業(組織)内生涯現役を実現する為に何が障害になるかを検討し、雇用管理面や高齢者のモチベーション、更には若年層、中年層とのより良い人間関係を構築するにはどうすべきか、専門家をお招きしてワークショップを開催し議論を深める。

- ③ 「勤労者の生涯現役」の実現に向け、企業や組織の文化・風土的や勤労者の生涯を通じた居場所及び勤労者の生涯現役実現のための課題を“見える化”し、広く世の中に知らしめる。
- ④ 定期的に会報を発行し情報共有を図る。

*実績

- ① 2017年10月13日 第1回東京部会
“生き生きと生涯現役で働き続けるための懇話会”をテーマに首都大学東京准教授 藺牟田洋美先生に講演いただいたあと、5～6名のチームに分かれてディスカッションをしました。参加者17名でした。
- ② 2018年2月23日 第1回守谷部会
“チームの熟達と生涯現役”のテーマで日本大学工学部教授北村勝朗先生に“上達のポイント”について講演いただきました。そのあと先生から参加者に課題が出され、初任者、中堅、ベテランなど、仕事の熟達度に応じた育成方法が必要かなどを5つのグループに分かれディスカッションしました。参加者28名でした。
- ③ 2018年3月20日 第2回東京部会
“シニア人材の活用と人事管理”のテーマで学習院大学名誉教授今野浩一郎先生に講演いただいたあと、3つのチームでシニアが活躍する条件等のディスカッションをしました。参加者は15名でした。